

## 農業

天栄村の農業は、稲作を主とした複合経営が中心です。

田園ではコシヒカリ、ササニシキ、ひとめぼれなどの美味しいお米の生産が行われています。

野菜は路地野菜作りが中心。特に「岩瀬きゅうり」は、最も生産高が多く、天栄村を代表するオリジナルブランドです。天栄の新しい故郷の味、「羽鳥湖漬け」などにも利用されています。

また、ハウス栽培により冬場に出荷が可能になった秋冬ニラは「あまニラ」として消費者に浸透。

その他にも、桃、ぶどう、梨、リンゴなどの季節の果物や椎茸などが栽培されています。

近年は、福島空港の開港にともない花き栽培農家も増加中。若い後継者が「夢」をもって農業に取り組める「夢作物」として、バラやトルコキキョウなどが栽培されています。

今後は、梅や柿を新しい生産物として栽培を推進し、天栄村の特産品の一つとして売り出されていくようです。



## 林業

村の総面積の8割を占めるのが緑豊かな山林。そのほとんどは国有林であり、林業を主体とした経営は多くありません。この林業家の多くの収入を支えているのが、「椎茸」栽培。近年の健康ブームもあり、順調な伸びをみせています。天栄村の椎茸は、原木の豊富さを利用して作られた良質な商品。身が厚く香りが高いと好評です。

さらに、平成7年には豊富な森林資源を活かすため、観光と森をタイアップさせた湯本スキー場をオープン。林産物の販売も行われます。

## 工業

現在、村内には30の事業所があり、そのうち10人以上の雇用を行っている会社は17社です。

飯豊農工団地にも大手企業が3社進出してきました。

今後は、さらに福島空港、東北新幹線、東北自動車道などの高速交通網も便利に利用できる優位性を活かしながら、大山農工団地への企業誘致を進め、若い世代の定住を図っています。

